

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387



地震・津波・防災問題 テーマに 第40回公害環境デーを開催

第40回公害環境デーは2月26日午後、エルおおさか南館ホールで、テーマを「みんなんで考えよう、大阪の防災―地震と津波、大災害から生命・絆・都市を守る第一歩に―」に絞って開催され、153名が参加しました。テーマを絞って開催したことについて実行委員会の中村毅事務局長は、「東日本大震災の直

後であるとともに、近畿においても東海・東南海・南海の巨大地震や上町断層帯直下型地震の発生が警告されている」ことをあげ、公害・環境問題全般の情勢と取り組み、課題については『基調報告』でふれ、各分野の取り組みについては「報告・資料集」に掲載するやり方を取ったと説明したうえで、原発問題、被害者救済や道路公害に対する運動、COP17、公害・環境行政、ソラダスなどについて報告し、「政治の流れを変える視点も重視しながら運動を一步ずつ前進させていこう」と強調しました。

記念講演では、関西大学の越山健治准教授、神戸大学の塩崎賢明教授が講演しました(詳細は2〜3面)。また、防災・自治体委員会の藤永のぶよ委員長が、各自自治体に対して行った防災計画についてアンケート調査の中間まとめを報告し、遅れている保育園・幼稚園の耐震化対策、削減の強行で大災害に対応できなくなっている職員の実態

などを指摘。大阪 労山の沢村さんは、東日本大震災であったコンビナート火災の映像を示しながら、巨大地震が発生すれば大阪でも同じこと

大阪から公害をなくす会が結成されたのは1971年2月17日のこと。2月26日には、公害環境デーの終わった後、場所を大阪グリーン会館に移して「創立40周年記念の集い」が行われました。

公害をなくす会が 創立40周年の集い

音楽家ユニオンの弦楽四重奏で始まった記念の集い。主催者あいさつに立った金谷邦夫会長は「40年前は環境問題一色の時代だった。公害患者のたまたまいが盛り上がり、そんな中で公害をなくす会が結成され、黒田革新府政も誕生させた。当時は公害だけで1万人、1万2千人もの集いを持っている。40年の歴史と伝統を引き継ぎ、われわれももっともっと力をつけて行動する組織として頑張っていきたい」と決意を述べました。

が起きる可能性を警告しました。今回初めて参加した男性は、「両先生のお話は丁寧ではっきりとよくわかりました。素晴らしい会合だったと思います。次回も出席させてもらいます」と感想を語っていました。

お祝いのスピーチでは西淀川公害訴訟弁護団長だった井関和彦さんが「公害問題に注がれたエネルギーにはすごいものがあつた。原発問題など公害問題は今後ますます大きな課題となる。大きく発展していったほしい」と期待を語り、衆議院議員の吉井英勝さんは、「1971年当時の堺泉北コンビナートの公害はひどいものだった」と振り返りながら、「大阪から公害をなくす会の40周年が、新しい運動の出发点になるよう頑張っていたいただきたい」と結びました。

「記念の集い」には各界・分野から73名が参加し、和やかなうちにも公害をなくす会の歴史を振り返りながら、これからの運動の前進を誓い合う場となりました。